

令和7年度日田市埋蔵文化財センター企画展

天領日田

を彩る遺跡たち

—豆田町を中心とした江戸幕府直轄地の栄えた暮らし—



咸宜園跡



永山布政所跡



城下町遺跡



長福寺



城下町遺跡



咸宜園跡



永山布政所跡



永山城跡

Buried Cultural Property Investigation Center Special Exhibitions

2025年 10月6日(月) → 2026年 3月31日(火)

入場無料

休館日 土・日・祝日・年末年始
開館時間 午前9時から午後4時
※休日開館は別途市HPにて

日田市埋蔵文化財センター
(萩尾公園隣接)

主催：日田市

問合せ先：文化財課埋蔵文化財係 TEL 0973-24-7171

展示遺跡の紹介

長福寺

国重要文化財（本堂）

【令和6年度調査】
日田市豆田町

九州最古の真宗寺院とされる本堂（17世紀後半頃建築）を有する長福寺では、現存建物の修復工事などの際に山門礎石跡や学寮建物痕跡などが確認されている。今回の防火施設整備工事に伴う調査では礎石や石畳などが見つかり、かつて境内に存在し絵図に記されている寺社建築物との関連が考えられ、創建当時の寺院の姿が想像される。



墨線のある学寮建物礎石



学寮跡建物礎石

永山城跡

県史跡

日田市丸山2丁目

花月川北側の独立丘陵「月隈山」に慶長6年（1601）に丸山城として築かれた川原石積みの石垣が特徴的な城で、遺跡内容確認調査のほか、遊歩道整備や平成28年熊本地震被災による石垣の災害復旧工事に伴い発掘調査が行われた。城の規模は小さいながらも、本丸に残る御殿建物の礎石や陶磁器・瓦などの出土遺物からは、城主の暮らしぶりが想像される。



修理中の石垣



北側堀の石垣

咸宜園跡

国史跡

日田市淡窓2丁目

文化14年（1817）に儒学者である廣瀬淡窓が創設した私塾で、史跡整備に伴う調査により現存する居宅（秋風庵）の基礎跡や塾施設の痕跡などが明らかとなった。これらの遺構から出土した文房具、日常生活で使われる雑器などからは、当時の塾での生活の一端を垣間見ることが出来る。



生活具が出土した塾地層跡



秋風庵解体修理時の基礎跡

城下町遺跡

日田市豆田町

豆田まちづくり交流館などの整備工事に伴う調査で、18世紀後半頃の複数の建物やそれ以前のカマドや土坑、多くの陶磁器や豆田町の建物では有力商家にのみ見られる一つ巴の瓦が出土した。これらの建物跡は、豆田町の有力町年寄の居宅であることが判明しており、土地区画が有力商家へと再編される様子を伝えている。



陶磁器（鍋島焼）



建物礎石跡

永山布政所跡

日田市丸山1丁目

寛永16年（1639）に永山城（丸山城）の南側に設置された代官所（後に西国筋郡代）である。推定地一角の調査で、明治期以降の整地面の下層に用水路などの溝4条、土坑6基以上が確認され、埋土からは陶磁器、「日田御役所」銘の荷札などの木器類が出土した。陣屋構築物との関連が期待される。



荷札出土状況



水路などが見つかった調査区

草野家住宅

国重要文化財

日田市豆田町

製蠟業などで栄えた草野家は居蔵造の大型の商家建築で、大規模修理に伴い行われた調査では、明和9年（1772）の大火と再造成の痕跡、井戸跡などが確認され、豪商家屋の増改築の様相の一端を知ることが出来る。



瓦を敷き詰めた再造成痕跡

廣瀬淡窓旧宅及び墓

国史跡

日田市豆田町

儒学者廣瀬淡窓の生家で金融業で発展した商家である。主屋建物の修復工事に伴う調査で、埋置された胞衣壺や昭和期に解体された建物痕跡などが確認された。こうした痕跡からは、豪商廣瀬家の繁栄を知ることができる。



胞衣壺出土状況



（交通規制等により一部通行出来ない場合があります。）

日田市埋蔵文化財センター

〒877-0078 大分県日田市大字友田2893-44

TEL 0973-26-3211

<http://www.city.hita.oita.jp>

企画展の情報については日田市ホームページでもご覧になれます

